

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
【部門区分】第 1 部門第 2 区分
【発行日】令和 5 年 4 月 6 日(2023.4.6)

【公開番号】特開 2021-108739(P2021-108739A)
【公開日】令和 3 年 8 月 2 日(2021.8.2)
【年通号数】公開・登録公報 2021-034
【出願番号】特願 2020-201(P2020-201)
【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02(2006.01)

10

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 6 Z

A 6 3 F 7/02 3 3 4

【手続補正書】

【提出日】令和 5 年 3 月 29 日(2023.3.29)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

20

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

遊技を行う遊技機において、

ユーザープログラムを実行可能なマイクロコンピュータを備え、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、指定した格納領域に任意のデータを転送する第 1 転送命令と、指定した格納領域に特定レジスタに格納されているデータを転送する第 2 転送命令と、を含み、

前記第 2 転送命令は、前記第 1 転送命令よりもプログラム容量が小さく、

前記特定レジスタには、前記マイクロコンピュータが起動して前記ユーザープログラムが開始される前に 0 が格納され、

30

前記ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で特定格納領域を初期化する場合に、前記ユーザープログラムの開始後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、前記特定レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を実行することなく、前記特定格納領域を指定して前記第 2 転送命令を実行することで前記特定格納領域に格納されているデータを 0 とし、

前記マイクロコンピュータは、データを出力可能な出力ポートを複数含み、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、前記特定レジスタに格納されているデータを前記出力ポートから出力させる特定出力命令を含み、

複数の前記出力ポートを初期化する場合に、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうちの前記出力ポートから出力されるデータを 0 とした後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更することなく、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうち他の前記出力ポートから出力されるデータを 0 とする、遊技機。

40

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 6

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 6】

50

請求項 1 の遊技機は、

遊技を行う遊技機において、

ユーザープログラムを実行可能なマイクロコンピュータを備え、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、指定した格納領域に任意のデータを転送する第 1 転送命令と、指定した格納領域に特定レジスタに格納されているデータを転送する第 2 転送命令と、を含み、

前記第 2 転送命令は、前記第 1 転送命令よりもプログラム容量が小さく、

前記特定レジスタには、前記マイクロコンピュータが起動して前記ユーザープログラムが開始される前に 0 が格納され、

前記ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で特定格納領域を初期化する場合に、前記ユーザープログラムの開始後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、前記特定レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を実行することなく、前記特定格納領域を指定して前記第 2 転送命令を実行することで前記特定格納領域に格納されているデータを 0 とし、

10

前記マイクロコンピュータは、データを出力可能な出力ポートを複数含み、

前記ユーザープログラムで実行可能な命令は、前記特定レジスタに格納されているデータを前記出力ポートから出力させる特定出力命令を含み、

複数の前記出力ポートを初期化する場合に、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうちの前記出力ポートから出力されるデータを 0 とした後、前記特定レジスタに格納されているデータを変更することなく、前記特定出力命令を実行することで複数の前記出力ポートのうち他の前記出力ポートから出力されるデータを 0 とする、

20

ことを特徴としている。

この特徴によれば、ユーザープログラムの開始に伴う特定契機で特定格納領域を初期化する場合には、指定した格納領域に任意のデータを転送する第 1 転送命令ではなく、指定した格納領域に特定レジスタに格納されているデータを転送する第 2 転送命令を用いるので、プログラムの記憶容量を少なくできる。また、マイクロコンピュータが起動してユーザープログラムが開始される前に、特定レジスタに 0 が格納されることから、ユーザープログラムの開始後、特定レジスタに格納されているデータを変更する命令を実行する前に、特定レジスタに格納されているデータを 0 とする命令を実行することなく、特定格納領域を指定して第 2 転送命令を実行することで、ユーザープログラムの開始に伴い特定格納領域を初期化する際の命令数を減らすことができる。

30

40

50